

議題 - 1

第1回流域委員会について



PLAY
BACK



第1回巴川水系流域委員会の開催に先立ち「現地視察」を行いました。



現地視察の状況写真

賤機山より麻機遊水地を望む



大谷川放水路 分流工地点



流域委員会は、河川整備計画の「構成」および「策定過程」にあわせて開催します。

河川整備計画 策定

- 1 . 流域及び河川の概要
- 2 . 河川の現状と課題
- 3 . 河川整備の目標に関する事項
- 4 . 河川整備の実施に関する事項

河川整備計画(素案)

【(原案)の公表・県民意見の募集】
(静岡県情報提供の推進に関する要綱による手続き)

河川整備計画(案)

流域委員会 (予定)

第1回 (設立・概要)

第2回 (現状と課題抽出)

第3回 (目標・実施)

第4回 (素案を原案へ)

第5回 (案の策定)

意見

意見

意見

意見

意見

今後の巴川水系河川整備計画の策定に向け、以下の点に着目し、流域や河川の特長、課題など整理しました。

治水

巴川本川は縦断勾配が緩い低平地河川。
近年、流域内の市街化の進展は著しく、特に平地部の田畑は、そのほとんどで宅地化。
古くから流域発展のために巴川の治水対策は不可欠。

利用

舟運など、これまでの地域の発展に果たした大きな役割。
湿地や水辺の環境保全等における人と河川との関わり。

環境

流域の変遷とともに生態系や水質など水辺環境が変化。
流域内の水辺はその周辺の地形に深い関わりを持ち、貴重種をはじめとする多様な動植物の生育・生息場所であること。
貴重種とされる動植物が多数確認される一方で、外来種も広がりを見せていること。

第1回巴川水系流域委員会を振り返り、各委員の主なご意見を整理しました。

分類	主なご意見・ご提案の内容
治水	<ul style="list-style-type: none">・ 記念碑は改修工事の原点であり、取扱いを尊重する・ 麻機遊水地の早期完成を・ 治水対策を第一義に置いた計画作りを・ 治水対策を全て河川側が担うのではなく、流域住民の暮らし方に注文をつける時代が来た・ 既存施設の有効利用により浸水被害の軽減を図る・ 行政内部（河川・都市計画）で連携をとり浸水被害を軽減させる・ 大谷川放水路の整備に関して大谷地区の協力は決して忘れてはいけない・ 森林が持つ多面的機能が発揮できるよう河川側から提案して頂きたい・ 適切な土地開発指導を・ 現在の流域貯留施設の貯留量は？

第1回巴川水系流域委員会を振り返り、各委員の主なご意見を整理しました。

分類	主なご意見・ご提案の内容
<p>利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・潤いのある景観づくりを ・計画づくりには、地域住民の意見を多く聞き、親水性を考慮して欲しい ・子供たちが入れる川づくりを、川をつくり過ぎているのでは
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽、下水道の普及について？ ・「人と河川のかかわり」に関してmicrobial riskの調査を ・多自然型川づくりを実施した浅畑川の良い所を計画に取り入れてみては
<p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「先見性」を念頭に置いた計画づくりを ・上、下流域の住民間の交流を